

解答

一

- ① ざゆう ② ふぜい ③ ふせき ④ さいさき
 ⑤ 校正 ⑥ 雨後 ⑦ 報〔いる〕 ⑧ 遠心力

二

- 1 ① 無 ② 触 ③ 耳 ④ 敵
 2 ① 歯 ② 首 ③ 指 ④ 足

三

- 問一 七字：バレーボール部 三字：やめる
 問二 桐島の代わりにレギュラーとして試合に出られるということ。
 問三 チームは支えられているんだ
 問四 ほんとはお前、ちよつとはうれしいやろ
 問五 飛び込んで く ないだとき
 問六 ア
 問七 ニカッ
 問八 自分もコートの中で桐島と一緒に戦っているという気分が終わってしまうこと。
 問九 桐島

四

- 問一 パニック
 問二 イ
 問三 最終的な選択の時期
 問四 ウ
 問五 クマに襲われるかもしれないという恐怖
 問六 ツキノワグマの存在に対する人々の警戒心は無きに等しい（から）。
 問七 ウ
 問八 エ

解説

一

問八 桐島は「コートへ戻っていく」、「俺はまたその輝くコートを外側から見つめる」という描写から、「俺」はタイムアウトの間は桐島と一緒に試合をしているような気持ちになっていましたが、桐島にタオルを渡され、その気分に「幕を下ろされた（＝終わった）」ような気分になっていると読み取ることができます。

二

問五 続く文章で「畑の作柄状況を調べる見回りは重要な仕事ですが、『クマが近くに出た』となると、その見回りもできなくなってしまう」と語られていることから、「精神的な圧迫」とは、クマに襲われるかもしれないという恐怖や不安であると考えることができます。